



2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年6月30日

上場会社名 株式会社ダイセキ環境ソリューション 上場取引所 東 名
 コード番号 1712 URL https://www.daiseki-eco.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 浩也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理本部長 (氏名) 珍道 直人 TEL 052-819-5310
 四半期報告書提出予定日 2021年7月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の連結業績 (2021年3月1日～2021年5月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	4,264	1.5	482	46.5	483	37.6	287	41.2
2021年2月期第1四半期	4,200	19.1	329	1.5	351	0.3	203	△3.9

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 351百万円 (39.1%) 2021年2月期第1四半期 252百万円 (△0.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	17.10	—
2021年2月期第1四半期	12.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第1四半期	21,108	14,049	63.0
2021年2月期	21,275	13,761	61.3

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 13,317百万円 2021年2月期 13,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2022年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期 (予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年2月期の連結業績予想 (2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	8,776	18.4	768	67.3	791	66.2	475	83.5	28.26
通期	16,000	7.3	1,474	22.1	1,500	20.8	890	29.1	52.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期1Q	16,827,120株	2021年2月期	16,827,120株
② 期末自己株式数	2022年2月期1Q	16,241株	2021年2月期	16,118株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期1Q	16,810,947株	2021年2月期1Q	16,797,464株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限や個人消費の低迷が続くなか、一部で持ち直しの動きが見られるものの、感染力の強い変異株の出現や緊急事態宣言の再発出等により、厳しい状況が続きました。また、世界経済につきましても、ワクチン接種が進展するなかで、経済活動の制限が段階的に緩和されつつありますが、消費者物価や長期金利の上昇、就業者数の回復の遅れなど、依然として景気の先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの属する建設業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響による企業収益の悪化や投資マインドの低下により、一部で建設工事の中断や延期、新規現場の着工延期等が発生するなど、先行きに不透明感が残っております。

このような背景のもと、当社グループの主力事業である土壌汚染調査・処理事業においては、高利益率案件の受注やコンサルティング営業に注力いたしました。大都市圏における低価格競争が激しくなるものの、受注量及び受注処理単価は前期より回復傾向が持続するなか、大規模インフラ整備工事案件が業績に貢献した結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,264百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益482百万円（同46.5%増）、経常利益483百万円（同37.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益287百万円（同41.2%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(土壌汚染調査・処理事業)

新型コロナウイルス感染症の影響は足元落ち着き、土壌処理需要の回復傾向が持続するなか、高利益率案件の受注やコンサルティング営業に注力いたしました。岐阜リサイクルセンターの稼働率向上やコスト削減策を推進し、前期に受注したインフラ整備工事案件が業績を牽引した結果、売上高3,488百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益471百万円（同36.2%増）となりました。

(廃石膏ボードリサイクル事業)

新型コロナウイルス感染症の影響による工事現場の進捗の遅れが一段落したことにより、廃石膏ボード処理量は前年同期と比較して増加傾向にあり、また、土壌固化材は大口先の需要が端境期となるなか、代理店販売や直販ルート強化による営業が功を奏した結果、売上高542百万円（同11.2%増）、営業利益148百万円（同41.4%増）となりました。

(その他)

P C B事業は堅調に推移したものの、バイオディーゼル燃料（B D F）事業は飲食店業界不振の影響でやや苦戦しました。また、一般廃棄物処理関連の売上が前年同期と比較して減少した結果、売上高307百万円（同16.4%減）、営業利益44百万円（同19.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は21,108百万円となり、前連結会計年度末に比べ166百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が増加し、現金及び預金が減少したことによりです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は7,059百万円となり、前連結会計年度末に比べ454百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金、短期借入金及び長期借入金が減少したことによりです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は14,049百万円となり、前連結会計年度末に比べ288百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が増加したことによりです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の連結業績予想につきましては、2021年4月5日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,031	541
受取手形及び売掛金	2,475	2,672
たな卸資産	680	560
その他	68	131
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	4,252	3,901
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,192	6,366
土地	8,044	8,044
建設仮勘定	123	151
その他(純額)	1,808	1,766
有形固定資産合計	16,168	16,328
無形固定資産	19	19
投資その他の資産		
その他	836	860
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	835	859
固定資産合計	17,023	17,206
資産合計	21,275	21,108
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,158	852
短期借入金	980	820
1年内返済予定の長期借入金	1,542	1,533
リース債務	54	54
未払金	211	241
未払法人税等	273	191
賞与引当金	90	24
その他	435	835
流動負債合計	4,746	4,554
固定負債		
長期借入金	2,505	2,246
リース債務	143	148
退職給付に係る負債	114	105
その他	3	3
固定負債合計	2,767	2,504
負債合計	7,513	7,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,287	2,287
資本剰余金	2,086	2,086
利益剰余金	8,552	8,789
自己株式	△11	△12
株主資本合計	12,914	13,151
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	154	161
退職給付に係る調整累計額	△6	4
その他の包括利益累計額合計	148	166
非支配株主持分	699	732
純資産合計	13,761	14,049
負債純資産合計	21,275	21,108

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
売上高	4,200	4,264
売上原価	3,495	3,387
売上総利益	704	876
販売費及び一般管理費	375	394
営業利益	329	482
営業外収益		
受取利息	0	0
出資金運用益	14	—
補助金収入	7	2
その他	3	0
営業外収益合計	24	3
営業外費用		
支払利息	2	2
その他	0	0
営業外費用合計	3	2
経常利益	351	483
特別利益		
固定資産売却益	—	6
特別利益合計	—	6
特別損失		
固定資産除却損	—	1
特別損失合計	—	1
税金等調整前四半期純利益	351	488
法人税、住民税及び事業税	188	180
法人税等調整額	△74	△25
法人税等合計	114	154
四半期純利益	237	333
非支配株主に帰属する四半期純利益	33	45
親会社株主に帰属する四半期純利益	203	287

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	237	333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	7
退職給付に係る調整額	△0	10
その他の包括利益合計	15	18
四半期包括利益	252	351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	219	305
非支配株主に係る四半期包括利益	33	45

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土壌汚染調 査・処理事 業	廃石膏ボー ドリサイク ル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,397	484	3,881	318	4,200	—	4,200
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3	3	50	53	△53	—
計	3,397	487	3,885	368	4,253	△53	4,200
セグメント利益	346	104	451	54	505	△176	329

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境分析事業、BDF事業、PCB事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△176百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年5月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土壌汚染調 査・処理事 業	廃石膏ボー ドリサイク ル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,486	541	4,027	237	4,264	—	4,264
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	1	3	70	74	△74	—
計	3,488	542	4,030	307	4,338	△74	4,264
セグメント利益	471	148	620	44	664	△181	482

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境分析事業、BDF事業、PCB事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△181百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。